

# 鳥取県の農林水産業の概要

## 特徴・取組

鳥取県は、東西126km、南北62kmで東西方向に細長く、中国山地が日本海側にせり出した形で横たわっているため、狭小急傾斜で山地が多い地形となっている。

行政ブロックとしては中国地方だが、経済的には大阪を中心とする近畿経済圏に属しており、人的往来、物資の移出入等京阪神地方との結び付きが強い。産業別構成は、第1次産業が2.8%、第2次産業が21.6%、第3次産業が74.8%となっている。

農業は、三大河川（千代（せんだい）川、天神川、日野川）に開けた水田地帯での水稲、県東中部の中山間地帯の傾斜地及び黒ボク（くろぼく）丘陵地帯の「なし」を中心とした果樹、黒ボク畑及び砂丘地帯での野菜、大山（だいせん）山ろく地帯の酪農、山間地域の肉用牛など多様な生産が行われている。

林業は、慶長杉（けいちょうすぎ）に代表されるように八頭（やず）郡で古くからスギが造林され、良質の杉材が生産されており、智頭（ちづ）林業、若桜（わかさ）林業として全国に知られている。

水産業は、西部の美保湾でのぎんざけ養殖をはじめ、港湾を利用したわかめ、いわがき養殖、ひらめ、ぎんざけ、まさば等の陸上養殖、内水面のさけ・ます類の養殖など多様な養殖業が行われている。

素晴らしい地域の食資源をアピールするとともに、食を通じて県民の誇りと地域への愛着を醸成することを目的に、平成19年から「食のみやこ鳥取県」をきっかけ、「食」をキーワードとした県政を推進するとともに、平成30年には「鳥取県農業生産1千億達成プラン」を策定し、令和12年に農業産出額1千億円を達成する目標に向け、「アグリスタート研修支援事業」等の新規就農支援事業を展開するなど、各種施策を推進している。

## 主な農林水産物

### らっきょう

県東中部の砂丘地帯を中心に作付け。「鳥取砂丘らっきょう」「ふくべ砂丘らっきょう」はGI登録産品。  
(収穫量全国1位)



### 日本なし

二十世紀梨を中心に栽培。近年、なつひめや新甘泉（しんかんせん）など県オリジナル品種が登場。  
(収穫量全国6位)



### すいか

県中部地区を中心に生産。出荷時期は6月上旬から7月下旬が中心。「大栄西瓜」はGI登録産品。  
(収穫量全国4位)



### ブロッコリー

大山（だいせん）山ろくの黒ボク土壌で栽培され、葉付きで出荷している。「大山ブロッコリー」はGI登録産品。  
(収穫量全国9位)



### ねぎ

県西部の弓浜（きゅうひん）半島の砂畑を中心に、県下全域に産地が拡大し、周年出荷が行われている。  
(収穫量全国10位)



### 花御所柿

鳥取県が原産地で日本一の甘柿といわれている。「こおげ花御所柿」はGI登録産品。



### 肉用牛

第11回（平成29年）全国和牛能力共進会で種雄牛「白鵬85の3」を父とする鳥取和牛が肉質日本一となり、評価が高まっている。



### すぎ

樹齢約350年と伝わる慶長スギと名付けられた大木が現在も残り、我が国における造林の典型的な林業景観を形成している。



### はたはた

鳥取県産は、脂ののりが良く、全長20センチ以上のものを「とろはた」としてブランド化している。  
(漁獲量全国2位)



### ずわいがに

鳥取県では、成長した雄を「松葉がに」と呼び、冬の鳥取を代表する特産品。厳しい基準のブランド「五輝星」がある。  
(漁獲量全国2位)



# 鳥取県内の各地域における農林水産物

## 西部地域

【農畜産物】ねぎ、ブロッコリー、日本なし、かき、ブロイラー、肉用牛

【水産物】ずわいがに、べにずわいがに、くろまぐろ、あじ、さば、いわし、さわら、岩がき、白いか（ケンサキイカ）、ぎんざけ

## 東部地域

【農畜産物】らっきょう、ねぎ、日本なし、かき、肉用牛

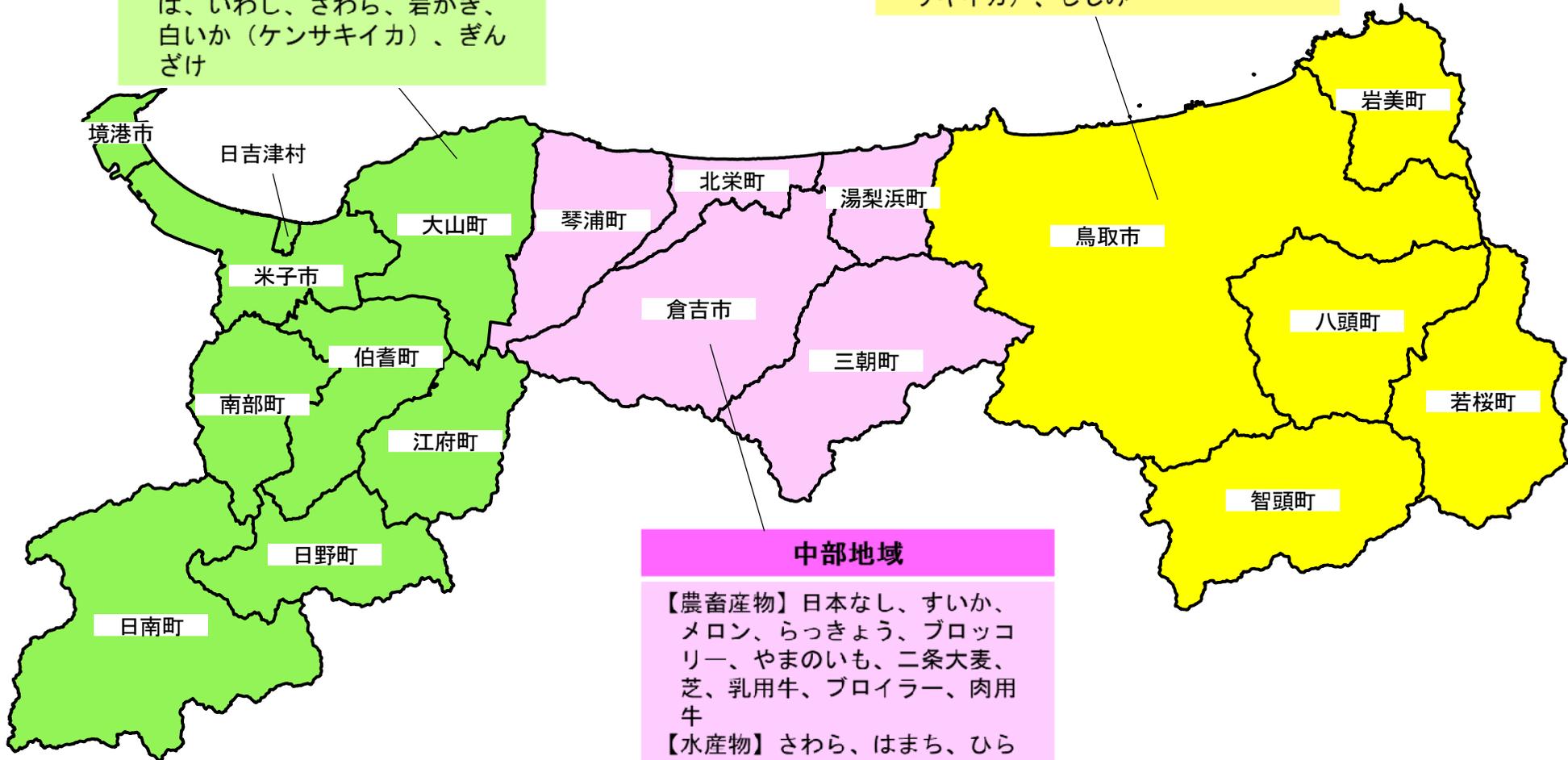
【林産物】乾きくらげ、竹炭、エリンギ

【水産物】ずわいがに、はたはた、あかがれい、岩がき、白いか（ケンサキイカ）、しじみ

## 中部地域

【農畜産物】日本なし、すいか、メロン、らっきょう、ブロッコリー、やまのいも、二条大麦、芝、乳用牛、ブロイラー、肉用牛

【水産物】さわら、はまち、ひらめ、とびうお、岩がき、しじみ



出典：鳥取県農林水産業の概要

鳥取県ホームページ「食のみやこ鳥取県」を基に作成

# 鳥 取 県 の 農 業 ( 1 )

- ・ 耕地面積は3万4,100haで、うち68%が田。
- ・ 総農家数は2万3,106戸で、うち販売農家は1万3,911戸。農業経営体数は1万4,481経営体で全国第36位。うち法人経営は311経営体。
- ・ 基幹的農業従事者数に対する65歳以上の割合は79.9%。

## 耕地面積

区 分	鳥 取 県	全 国	全国順位
耕地面積	34,100 ha	4,349,000 ha	37
田	23,300 ha	2,366,000 ha	34
畑	10,900 ha	1,983,000 ha	32
普通畑	8,750 ha	1,126,000 ha	25
樹園地	1,320 ha	263,200 ha	41
牧草地	799 ha	593,400 ha	19
参考) 総土地面積	350,714 ha	37,797,463 ha	41

出典: 「令和3年耕地面積(7月15日現在)」、「令和3年全国都道府県市区町村別面積調」(国土交通省国土地理院)

## 荒廃農地面積

区 分	鳥 取 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	3,462 ha	281,831 ha	28

出典: 「令和2年の都道府県別の荒廃農地面積」

## 担い手への農地の集積状況

区 分	鳥 取 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	10,965 ha	2,535,115 ha	36
集積率	32.0 %	58.0 %	31

出典: 「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和2年度版)」

注: 農地中間管理機構を介さないものを含む。  
令和3年3月末の数値である。

## 農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	鳥 取 県	全 国	全国順位
農業経営体数	14,481 経営体	1,075,705 経営体	36
法人経営体	311 経営体	30,707 経営体	39
総農家数	23,106 戸	1,747,079 戸	36
販売農家	13,911 戸	1,027,892 戸	35
参考) 世帯総数	219,742 世帯	55,830,154 世帯	47
集落営農数	312 集落営農	14,490 集落営農	21

出典: 「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「集落営農実態調査(令和3年2月1日現在)」

## 基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	鳥 取 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	17,342 人	1,363,038 人	35
男	10,210 人	822,144 人	35
女	7,132 人	540,894 人	33
65歳以上	13,860 人	948,621 人	33
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	79.9 %	69.6 %	-
認定農業者数	1,017 経営体	233,806 経営体	45
法人数	222 法人	26,080 法人	40
参考) 総人口数	553,407 人	126,146,099 人	47

出典: 「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和2年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

# 鳥 取 県 の 農 業 ( 2 )

- ・ 農業産出額は764億円で全国第36位。内訳は、野菜が28%、米が20%、ブロイラーが11%。
- ・ 農畜産物の生産状況は、らっきょうが全国第1位、すいかが4位、日本なしが6位。
- ・ 農業者等による生産関連事業は、農産加工の年間販売金額は243億5,100万円で全国第13位。事業体数は420事業体。

## 農業産出額

区 分	鳥 取 県	全 国	全国順位
農業産出額	764 億円	89,557 億円	36
米	150 億円	16,551 億円	34
麦類	x 億円	521 億円	- *
雑穀	0 億円	77 億円	24
豆類	1 億円	712 億円	33
いも類	10 億円	2,391 億円	27
野菜	214 億円	22,520 億円	33
果実	64 億円	8,741 億円	33
花き	30 億円	3,080 億円	32
工芸農作物	2 億円	1,553 億円	33
その他作物	x 億円	697 億円	- *
畜産	290 億円	32,279 億円	29
肉用牛	54 億円	6,863 億円	31
乳用牛	81 億円	9,310 億円	22
生乳	73 億円	7,798 億円	22
豚	46 億円	6,596 億円	29
鶏	108 億円	8,724 億円	26
鶏卵	21 億円	4,577 億円	36
ブロイラー	87 億円	3,621 億円	8 *
その他畜産物	1 億円	787 億円	40
加工農産物	0 億円	436 億円	34

出典：「令和2年生産農業所得統計」

注：1 「全国」の値は、都道府県別に推計した農業産出額を合計した値であり、全国推計した農業総産出額とは一致しない。

2 「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

## 農畜産物の生産状況

区 分	年次	鳥 取 県	全 国	全国順位	
らっきょう	収穫量	H30	2,259 t	7,767 t	1
すいか	収穫量	R2	18,100 t	310,900 t	4
日本なし	収穫量	R2	10,500 t	170,500 t	6
ブロイラー	出荷羽数	R3	17,443 千羽	713,834 千羽	7 *
ブロッコリー	収穫量	R2	6,080 t	174,500 t	9
やまのいも	収穫量	R2	1,590 t	170,500 t	9
そらまめ	収穫量	R2	371 t	15,300 t	10
ねぎ	収穫量	R2	11,700 t	441,100 t	10
メロン	収穫量	R2	1,170 t	147,900 t	10
干し柿	生産量	元	47 t	7,473 t	11

出典：「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「特産果樹生産動態等調査」、「地域特産野菜生産状況調査」、「畜産統計」

注：「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

## 農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	鳥 取 県	全 国	全国順位	
農産加工	総額	24,351 百万円	946,841 百万円	13
	事業体数	420 事業体	32,400 事業体	37
農産物直売所	総額	14,191 百万円	1,053,366 百万円	35
	事業体数	190 事業体	23,650 事業体	42
観光農園	総額	268 百万円	35,943 百万円	33
	経営体数	60 経営体	5,290 経営体	23

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

# 鳥 取 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は36.8億円で全国第31位。内訳は、木材生産が61%。
- ・ 林産物の生産状況は、乾きくらげ及び竹炭が全国第2位、エリンギが5位。
- ・ 製材工場数は40工場で全国第41位。

## 林野面積

区 分	鳥 取 県	全 国	全国順位
林野面積	258,432 ha	24,770,201 ha	33
国有林	30,011 ha	7,153,338 ha	27
民有林	228,421 ha	17,616,863 ha	32
人工林面積	140,234 ha	10,203,842 ha	31

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「森林資源の現況(平成29年3月31日現在)」

## 林業経営体数

区 分	鳥 取 県	全 国	全国順位
林業経営体数	843 経営体	34,001 経営体	15
法人経営体	64 経営体	4,093 経営体	24

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

## 林業産出額

区 分	鳥 取 県	全 国	全国順位
林業産出額	36.8 億円	4,286.4 億円	31
木材生産	22.6 億円	1,943.7 億円	25
栽培きのご類生産	13.1 億円	2,259.6 億円	29

出典：「令和2年林業産出額」

注：「全国」の値は、都道府県別に推計した林業産出額を合計した値であり、全国推計した林業産出額とは一致しない。

## 林産物の生産状況

区 分	鳥 取 県	全 国	全国順位
素材生産量	254 千m <sup>3</sup>	19,882 千m <sup>3</sup>	25
針葉樹	231 千m <sup>3</sup>	18,037 千m <sup>3</sup>	24
あかまつ・くろまつ	7 千m <sup>3</sup>	570 千m <sup>3</sup>	10
すぎ	187 千m <sup>3</sup>	11,663 千m <sup>3</sup>	18
広葉樹	23 千m <sup>3</sup>	1,845 千m <sup>3</sup>	18
乾きくらげ	生産量 21 t	142 t	2 *
竹炭	生産量 79 t	451 t	2 *
エリンギ	生産量 413 t	38,500 t	5 *

出典：「令和2年木材需給報告書」、「令和2年特用林産基礎資料」

注：「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

## 製材工場数

区 分	鳥 取 県	全 国	全国順位
工場数	40 工場	4,115 工場	41
製材用素材の入荷があった工場数	40 工場	4,067 工場	41
国産材のみ	26 工場	3,237 工場	41
国産材と輸入材	14 工場	653 工場	22

出典：「令和2年木材需給報告書」

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

# 鳥 取 県 の 漁 業

- ・海面漁業・養殖業産出額は212億円で全国第20位。
- ・水産物の生産状況は、海面漁業ではたはた及びずわいがにが全国第2位。
- ・漁業者等による生産関連事業は、水産物直売所の年間販売金額が8億2,100万円で全国第15位。事業体数は10事業体。

## 漁船隻数

区 分	鳥 取 県	全 国	全国順位
漁船隻数	680 隻	132,201 隻	34
動力漁船	377 隻	69,920 隻	34

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

注：漁船隻数は、海面漁業経営体が漁業生産のために使用した漁船の数である。

## 漁業経営体数

区 分	鳥 取 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	586 経営体	79,067 経営体	33
内水面漁業経営体数	97 経営体	4,772 経営体	15

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

## 漁業就業者数

区 分	鳥 取 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	1,125 人	151,701 人	33
男	1,103 人	134,186 人	32
女	22 人	17,515 人	38

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

## 漁業産出額

区 分	鳥 取 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	212 億円	13,484 億円	20

出典：「令和元年漁業産出額」

## 水産物の生産状況

区 分	鳥 取 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	93,275 t	4,182,983 t	14 *
海面漁業漁獲量	91,390 t	3,213,334 t	9
はたはた	1,294 t	4,853 t	2 *
ずわいがに	774 t	2,805 t	2 *
海面養殖業収穫量	1,885 t	969,649 t	25 *
ひらめ	6 t	1,790 t	7 *
内水面漁業・養殖業生産量	338 t	50,832 t	21 *
内水面漁業漁獲量	293 t	21,745 t	10 *
しじみ	292 t	8,894 t	5 *
内水面養殖業収穫量	45 t	29,087 t	32 *

出典：「令和2年漁業・養殖業生産統計」

注：1 海面漁業・養殖業生産量は、当該都道府県に所在する漁業・養殖業経営体の生産量である。

2 「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

3 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所事故の影響を受けた区域において、同事故の影響により出荷制限又出荷自粛の措置がとられたものについては、生産量に含めていない。

## 漁業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	鳥 取 県	全 国	全国順位	
水産加工	総額	2,451 百万円	175,132 百万円	19
	事業体数	10 事業体	1,500 事業体	28
水産物直売所	総額	821 百万円	36,489 百万円	15 *
	事業体数	10 事業体	800 事業体	18 *

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

# 鳥取県の農林水産業の話題等

## 鳥取県農業生産1千億円達成プランの策定等

令和12年度に農業生産1千億円を達成するため、まずは令和7年度に目指すべき姿（目標設定）を明確にした上で、各種施策を実行する「鳥取県農業生産1千億円達成プラン」を策定している（令和2年に1千億円の達成目標年度を変更、令和3年に基本方針、重点分野、指標項目、目標数値を改訂）。

## 園芸産地の基盤強化

鳥取型低コストハウス※の導入、ハウス施設の高度利用等による生産コスト低減、梨のリレー出荷による労力分散、出荷期間の長期化、ジョイント栽培等による園芸産地の基盤強化を図っている。

さらに、収益性の高い園芸品目（白ねぎ、ブロッコリー等）や果樹の新品種（大玉・高糖度で酸味が少ない梨「新甘泉（しんかんせん）」、なめらかな食感と上品な甘みの柿「輝太郎（きたろう）」）の導入、いちごの団地化と県育成品種「とっておき」のブランド化等を推進している。

また、鳥取県はすいかの出荷量が全国上位であり、中でも「大栄西瓜」は最も生産量が多い。「大栄西瓜」、「大山ブロッコリー」、「鳥取砂丘らっきょう・ふくべ砂丘らっきょう」、「こおげ花御所柿」は地理的表示(GI)に登録されている。

※ 高強度鋼管を使用し、パイプピッチ幅を従来幅の1.4倍70cmに広げることで、コストを大幅に削減したハウス。耐雪型と通常型がある。



鳥取型低コストハウス

大栄西瓜



新甘泉

輝太郎

## 収益性の高い畜産経営の実現

全国和牛能力共進会肉質日本一の「白鵬（はくほう）85の3」等の高能力種雄牛を活用し、繁殖雌牛の増頭と和子牛の生産拡大を図るとともに、産地ブランド力の向上による「和牛王国とっとり」の復活に向けた取組を推進している。

養鶏では、生産性向上や経営基盤を強化するとともに、消費者の高級志向に応え、よりおいしい肉用鶏として鳥取県で研究開発された「鳥取地どりピヨ」のブランド化や、6次産業化への取組を行っている。



ブランド牛（白鵬85の3）

鳥取地どりピヨ